

篠田理佐子(しのだりさこ)

ソプラノ



昭和音楽大学卒業。Soprano Laura Groppi master class受講。これまでに「フィガロの結婚」ケルビーノ、花娘、「コシ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ、「魔笛」童子、「マルタ」ナンシー、「サンドリヨン」精霊、「ジャンニ・スキッキ」ゲラルディーノなどでオペラに出演。その他コンサートに多数出演。

馬橋フラウエンコール、ボイストレーナー。

日本オペラ振興会オペラ歌手育成部 32期修了。

日本オペラ協会準会員。

宮野陽子(みやのようこ)

ヴァイオリン



東京芸術大学附属音楽高校、東京芸術大学音楽学部卒業。在学中、安宅賞を受賞。1987年、芸大オーケストラと協奏曲を共演。また、中国(北京・上海)へ演奏旅行。国内数ヶ所でコンサートを行う。1988年、ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団の第1ヴァイオリン奏者として渡欧。オランダに在学中、オランダ・アルクマール音楽祭に参加。室内オーケストラ、室内楽などの活動も行う。1996年帰国。後進の指導のかたわら、ソロ、室内楽、オーケストラやアンサンブルのコンサートミストレスとして演奏活動を行っている。天満敦子、原田幸一郎、ウラディーミル・デュフェック、ジグムント・ニッセルらに師事。

現在、東邦音楽大学 短期大学教授。

吉川歌穂(よしかわ かほ)

ソプラノ



東京音楽大学声楽専攻声楽演奏家コース卒業。声楽を長谷川紀久恵、長谷川大祐、木村奈緒美、服部容子、田代誠の各氏に師事。児童合唱団で歌を始め、高校1年より声楽を学ぶ。幼少期よりクラシックバレエ、ジャズダンスの研鑽も積む。大学在学中、オーディション合格者によるソロ・室内楽定期演奏会、卒業試験成績優秀者演奏会などに出演。これまでに「イル・トロヴァトーレ」イネス役、「こうもり」イーダ役、「伯爵家令嬢マリツア」モニカ役、「チャールダーシュの女王」アナスタージア役、「ルクセンブルク伯爵」ジュリエット役、「ルイズ」新聞売役、その他様々なオペラで主要キャストのアンダースタディや合唱を務める。

井後優弥(いご ゆうや)

ピアノ



印西市出身。母の手ほどきでピアノを始め、11歳でガーシュウィン《ラプソディー・イン・ブルー》を共演。その後、全日本学生音楽コンクール奨励賞、ルーマニア国際音楽コンクール最高位、市川市文化振興財団新人演奏家コンクール最優秀賞、北本ピアノコンクール優勝、やちよ音楽コンクール第1位、日本香港国際音楽コンクール最高位、大曲新人音楽祭コンクール(最優秀賞)など、国内外におけるコンクールで成果を上げ、各紙で取り上げられる。2013年、ABC 新人コンサート音楽賞を受賞。

NPO法人 芸術・文化若い芽を育てる会 助成対象に選ばれる。

東京フィルハーモニー交響楽団と共演。東京芸術大学音楽学部附属高校、東京芸術大学を経て、現在プラハ音楽院にて研鑽を積んでいる。

砂田直規(すなだ なおき)

バリトン



東京芸術大学大学院修了。芸大定期公演「修禅寺物語」夜叉王でデビュー。オペラ「袈裟と盛遠」では盛遠役で作曲家・石井欽氏に、ポーランド公演に於いてテアトロ・ヴェルキ音楽監督サタノフスキ氏に絶賛された。「唐人お吉」「よさこい節」「すて姫」「春琴抄」「フィガロの結婚」「蝶々夫人」「ラ・ボエーム」「仮面舞踏会」「カルメン」等 レパートリーは極めて広く、NHK-FM、BSなど多数出演。千葉ニュータウン混声合唱団指揮者。9月「カルミナ・ブラーナ」(墨田トリフォニー)、11月「冬の旅」(信州高遠美術館)演奏予定。

東祐輔(あずま ゆうすけ)

ピアノ



7歳よりピアノを、12歳よりオルガンを始める。第3回ベートーヴェン国際ピアノコンクールアジアにて第4位、印西音楽協会賞を受賞。The 3rd young piano stars international piano competition(ドイツ)ファイナリスト。銀座ヤマハでのサロンコンサートシリーズへの出演や、ヴィンテージ・ニューヨーク・スタインウェイを使用したソロリサイタルの開催など、活発な演奏活動を行う。これまでに上野学園大学管弦楽団、多摩コースオーケストラと共演。また、パウル・バドゥラ＝スコダ、干野宜大、イリヤ・シェプス、フレンツ・ラドシュの各氏のマスタークラスを受講し、選抜演奏会などに出演する。現在、上野学園大学演奏家コース4年に特待生として在学し、干野宜大、川田健太郎、安田正昭、江口玲、碓井俊樹の各氏に師事。